

若竹

~WAKATAKE~

第45号

2012/3/15発行

懸念だった学年末考査が終わり、結果も出て悲喜こもごものうちにそろそろ落ち着いてきた頃でしょうか。バタバタと忙しかった学校生活もそろそろひと区切りです。落ち着いて外を眺めれば、タンポポや虫たちが姿を現しています。春の息吹きがそこまで来ていることに気づけるでしょう。もうすぐ自然に囲まれた白陵に、また新しい季節がやってきます。

『私の中学時代』

南坂 繁先生（中1 学年付：数学）



私は福井県の小さな村に生まれました。中学校を出れば働くのが普通でしたが、なぜか兄は工業高校を出て大阪に就職しました。父も大阪が中心だったので、小学校5年生から一家で尼崎に移り、中学も尼崎の公立でした。高校へは行ければ行くし、行けなければ卒業して働く親も子も考えていました。何か運動をした方が良いと考えて、バスケット部に入りました。この中学校は女子バレーが強くて、全国大会が当たり前、全国優勝も何度かあるというような、鬼のような監督のいるクラブでした。バスケット部もその横で激しく練習をするのが当たり前ようになっていました。日曜日や夏休みはほとんど練習、試験1週間前だけは今の白陵のように休みでしたが、正月も3~4日間しか休まないというクラブでした。今では考えられないことです。顧問の先生はほとんどいなくて、その代わり、学校の近くに住むちょっと不良っぽい先輩から激しく鍛えられました。毎年県のBest8以上だったと思います。校則は今の白陵のようなもので、守らない生徒が、朝礼で前に引っ張り出されて、バシバシとたたかれると言うようなことがしばしばありました。中1の時に東京オリンピックがあり、鬼の大松監督がバレーボールで金メダルを取った頃のことです。日本人は必死で生きていたと思います。高度経済成長期へ突き進む時代です。中卒で働く人もたくさんいましたが、なぜか尼崎一の進学校に進み現在があります。今思うに、中学時代に苦しくてちょっと嫌だが我慢して理由なく練習に赴いたことが、その後の大学進学等での頑張りにつながったと感じています。最近では子どもの人権が重んじられ、スパルタは流行りません。時代が違うのですが、ただひたすら激しくやるのが良いことだったような気がします。学校がしんどいのは当たり前だからそんなに苦にならなくて、今のように豊かでないので夢が持てる時代だったと思います。的はずれそうですが、何かに向けて必死で生きてほしいと言うことです。それは時代が変わっても同じで、中高生は必死で生きるものだと思っています。

僕たちの先生紹介

長谷部先生 (中2英語) 僕のクラスの先生は長谷部先生です。授業では英語 R を教えてくださっています。長谷部先生は背が高くて見た目は優しいそうです。が、怒ると少し怖いです。

運動会や球技大会で一位を取ってもジュースはおごってくれなさそうですが、ほめる時はしっかりほめて、しかる時はしっかりしかってくれる先生です。そして、とにかく HR が長いのが長谷部先生の特徴だと思います。急いでいるときは早く終わってほしくてたまりませんが、いろいろと注意やアドバイスをしてくれるので、生徒思いのクラス好きな先生です。授業では、分かりやすくておもしろい授業をしてくれます。ただ、先生が素朴にギャグを言うことがあるのですが、その時は必ずと言っていいほど教室全体がしけてしまいます。(笑) 長谷部先生はサッカー部の顧問を務めています。運動神経がどうなのかは知りませんが、長谷部先生がサッカーをしているところはどうしても想像しにくいです。(すいません)

去年、長谷部先生は結婚し、今年の 10 月で結婚一年目になります。(おめでとうございませう) 生活が忙しくなると思いますが、これからも頑張ってもらいたいです。

長くなりましたが、長谷部先生は生徒思いで、通常は優しく、HR が長くて……といろいろありますが、僕も、そんな先生を見習いたいです。(J2-3 中川瑛介)



川崎先生 (中2生物) 川崎先生は、中学 2 年生の理科 II の授業を担当されています。1 学期は地震のメカニズム等、2 学期は太陽や星などの天体について先生手作りのわかりやすいプリントを使いながら、わかりやすく解説して下さいました。先生は、しゃべることがおもしろくて内容も濃いです。授業中には、授業をするだけではなく、しばしば面白い雑談をしたり、冗談を言ったりして生徒を笑わせます。質問に行っても、そのことについて生徒が理解するまで、くわしく優しく教えて下さいます。

週 2 清掃の担当の時にも、点検するだけではなく先生自ら手伝って下さるので、生徒だけでやる時よりもきれいに、早く清掃を終えることができます。

教室清掃のときには、隅々までしっかり点検して、「ここが汚いよ」と的確に指示をしてく下さるので、風紀委員の点検の点数も、十点や九点など高得点が多いです。

最近、あごの下にひげを伸ばしておられるようですが、ダンディ・ティーチャーを目指されているのでしょうか……。 (笑) (2-1 西村志帆)



大久先生 (中3英語) 着任式の日。英 S の先生は誰になるのだろうかとワクワクしながら大久先生を初めて見た時、安心しました。優しそうな先生だなあと一目見て感じたからです。それから数日経って、英 S の授業を受けてみると、先生の素晴らしさがたくさん見えてきました。先生は広島県生まれで英語の発音がとても流ちょうであるという点では、中学一年生の時の英 R の先生で今は退任なさっている高杉先生 (今は萬先生) の再来を思わせるようですが、大久先生の魅力はそれだけではありません。授業の始まりは先生の世間話から始まり、授業も進度は早すぎず、とても楽しい授業をなさっています。また先生は授業に限らず、ホームルームや掃除時間でも、いつも落ち着いた様子で僕たちと接してくれます。これから少なくとも約半年は授業を受けることになるのですが、先生の授業をずっと楽しみにしています。(J3-1 副島佳晃)



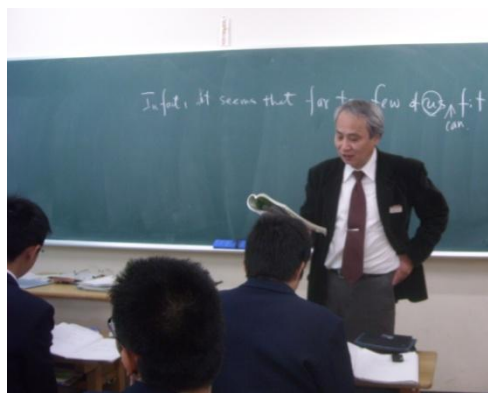
前中先生 (中3英語) 中2最初の英語 R の授業でのこと。その日から先生が新しくなるらしい。名前は前中先生。教室に入ってこられたのは、大きな四角いメガネをかけ、白髪のかかった先生でした。第一印象は、恐そう (先生、スママセン!)。授業が始まった時の第一声は自己紹介。ただし、英語で…。さらにその合間に「Understand?(分かったか?)」をはさむ。最初からキャラの濃い先生でした。

現在でもそれは健在です。第一印象は「恐そう」でしたが、実はほとんど怒らない温厚な方です。授業中でも面白い雑談をはさんで下さります。外国にいる時の話とか。例を一つ。バニラアイスクリームを買おうと「Vanilla, please.」と言ったそう。だけど、全然通じない。何度言っても通じなかったのに、子供が言ったら一発で「Oh, vanilla!」と納得されたそう。そこから発音は大事だよと持っていかれると説得力があります。

そんな感じで、授業はとても分かりやすく、前中先生になってから点数が激増した人もいます。僕もその1人です。ちなみに、漢字にはちょっと弱いようです。たまに板書で常用漢字を生徒に聞いたりしています。最近は改善に向かっていますが。

そんな前中先生で恐ろしいのが単語テスト。一授業で50近くの単語を範囲にしてテストをやっています。その時おっしやった「思い知れ」はたぶん一生忘れません。苦勞するので単語も絶対に忘れないでしょうけど。

そのように前中先生はキャラと力量の両方に優れた先生です。(J3-4 正田浩一朗)



中学部生徒委員会

2012年3月をもって2011年度中学部生徒委員会も無事終わることができました。これも、大内先生をはじめとして幡川先生、長谷部先生、浅田先生、清水先生など活動の手助けをして下さった先生や様々なところへ走り回ったり、活動に積極的に参加してくれた委員達などみんなの支えがあったからこそできたのです。

今まで本当に、ありがとうございました！！！！



中三の委員のメンバー

23年度中学部委員長

副委員長



J2 上田副委員長・J3 正田委員長

歴代中学部委員長



J3 正田・H1 西川・H2 和田・H3 橋本

中学部生徒委員会では、新聞若竹発行や岡白交流会や豆崎・曾根駅清掃、校門の花植栽などの活動をしてきました。

中一の委員のメンバー



僕達は、もうすぐ卒業します。そういうわけで、僕はこの文章を書くことになりました。白陵は中高一貫なので、中学校の卒業はあまり実感がありません。けれども、これで義務教育は終わります。なので、僕はそのことを胸において、高校生活をがんばって生きたいと思います。とりあえず、三年間ありがとうございました。あと三年間、よろしくおねがいします。小松君が規定の文字数を大幅にオーバーしてしまったそうなので、この辺で終わりたいと思います。最後

後に、面白みのない文章でごめんなさい。小松君の文章はきっと面白いと思うので、是非彼に期待してください。(J3-2 高山真季)

白陵中学校に入学して早くも三年が経ち、卒業を迎えようとしている。中学在学中にしてみたかったことが頭の中に山積みになっており、多少の未練はあります。しかし、それにも増して、この三年間、特に中学三年生の一年間には様々の貴重な経験をさせていただきました。この様々の経験を通じて得た教訓はすべて自分のためになっていると思います。また、この中学生活に無駄なことはなかったと思えます。学生の本分に邁進できたわけでは決してないですか卒業式まで残された中学三年生としての日々を精一杯満喫して、過ごしていきたいと思います。(J3-4 池上学歩)

本部役員のメンバー



もうすぐ中学校を卒業します。三年間というのは本当に早く感じました。中でも、三年間を通しての白陵祭は特に心に強く残っています。それは、中一のときは自分たちが楽しむことを一番に考えられていたのですが、学年が上がるにつれて下の学年の人たちを指導したり、準備が増えたりと、自分のおかれる立場の変化を実感することができたからです。これからは、下の学年の人にも胸を張れる高校生に成長していきたいと思います。(J3-1 池田篤志)

中三の新聞委員責任者



僕のこの一年間の一番の思い出は、修学旅行です。昨年の東日本大震災で修学旅行がなくなるかもしれないと言われていましたが、行き先が変わり、無事に行くことができました。僕は、修学旅行の実行委員になりたくて、中学部生徒委員会に入りました。そして、九月には「若竹」を作成し、修学旅行の話し合いをしました。修学旅行では、萩や長崎での自由行動、平和学習などいろいろな体験をすることができて、楽しかったです。今年一年は今まで体験したことがないようなことができたし、充実した一年だったと思います。高校

中二の委員のメンバー



ではもっと充実した日々を送れるように頑張ります。(J3-3 永田晃大)

「卒業するにあたって～三年間の思い出～」この題名を見て、「真面目っぽいな」と思った人は少なくないと思います。そうです、真面目に書きました。(この時、西野(以下省略)を歌いながら書いていたことは記憶にございませぬ。)

は言うものの、三年間の思い出など印象になく、友達が「俺は神！」などと妄言を吐いていたことくらいしかありません。そもそも、僕は卒業といわれても実感がありません。しかし、この三年間、先生方には大変お世話になりました。なのでこの卒業までに少しでも恩返しできたらなと思います。卒業は、終着点かつ始発点であるので、中学のことはすべて清算し、高校からはまっさらなスタートをしようと思います。(J3-1 小松徳)

もうすぐ中学校を卒業します。この三年間は本当にたくさんの方がいました。多すぎてここには書くことができません。時間の流れも早すぎて、一つ一つの思い出を噛み締める間もなくせかされていきます。中学三年間はいろいろなことに挑戦してきました。なので、高校で過ごす3年間もいろいろなことに挑戦し、何事にも感謝の気持ちを忘れることなく、楽しく学校生活を送りたいです。(J3-2 小野真暉)



三年間委員ごくろうさま

僕はもうすぐ白陵中学校を卒業します。思えば、いろいろなことがありました。うれしかったことや、悔しかったこと。泣きそうになったこともありました。ですが、そのたくさんの方の経験が今の自分を作っているんだと思います。そして、高校に上がってもこの経験を忘れずに、頑張りたいと思います。中二の皆さんに何か伝えることができる立場ではありませんが、まあ中学校最高学年として勉強や部活や恋などすべてのことで全力を尽くしてほしいと思います。(J3-1 木下剛宏)

私たちが白陵に入学してから三年が経ちます。中学校を卒業するという実感はまったくありません。でもこの三年間で多くのことにチャレンジし、いろいろなことを学ばせてもらいました。私が一番驚いたのは国語のスピーチ。ただでさえ人前でしゃべるのが苦手なのに何が嬉しくてスピーチなんて・・・と思っていたら、学年が上がるにつれて読書会、ディベートとグレードアップしました。でも、これらのお陰で自分の考えを言葉にし、それを多くの人に力を身につけられたことと思います。また、私が一番つらい思いをしたのは運動会の実行委員です。ダンスを教えても吸収してくれない人との戦いは大変でした。だから、運動会当日に無事演技を終えられた時はホッとしました。そして、実行委員というものが恐ろしいが、楽しいということを知りました。高校では「あと三年も」という心構えではなく、「三年しか」と思えるような充実した学校生活を送りたいです。(J3-1 原田和佳)

柔道大会

2012.2.17

～結果と感想～

毎年恒例の柔道大会。今年も激しい試合が数多く見受けられ、笑いあり、涙ありの一日でした。その大会も約1ヶ月前の話ですが、本当に時が過ぎるのは早いです。それでは、まずは結果から。

2部 (中3男)	1位	中3-2A	MVP 劉子陶
	2位	中3-4A	
3部 (中2男)	1位	中2-1	MVP 迫真太郎
4部 (中1男)	1位	中1-1	MVP 中村光希
5部 (高中女)	2位	中3-4	
7部 (中1女)	1位	中1-1	MVP 土田夏湖
男子65超級	2位	中3-3	山田倭正



それでは、優勝したクラスやMVPを受賞した者の喜びの感想です。



ことができましたので本当にうれしかったです。なので、来年はもっと体力も技術もつけてこの柔道大会に出場したいなと思いました。(J1-1 中村光希)

初めはとても緊張してうまく投げられるかどうか不安だったけど、いざ戦ってみると練習成果が出たのか、2連勝することができたし、団体戦で優勝することもできたし、MVPまで取ることができた。





今年も柔道大会がありました。一組は男子団体戦で何とか優勝することができました。自分は団体戦で三将をやったのですが、一回戦の神垣君とは去年も戦っていてやはり、数段強くなっていて苦戦しました。さらに、二回戦の山口君なんかは気迫が凄くて有効を二度もとられました。正直、途中で負けると思いましたが、最後に上手く大腰で一本を決めることができました。みんなで優勝できてよかったです。(J2-1 迫真太郎)

「うれしい」その一言に尽きる。しかし感じたことは沢山ある。自分たちのチームを応援してくれた人たちへの感謝の気持ち、勝利を友達と共有できた時のうれしさなど、文化部では感じられない、多くのことを感じさせてもらった。このような伝統のある大会を主催した人に感謝の言葉を申し上げたい。

(J3-2 星島之輝)



1組のPR文はこんな書き出しで始まっていた。「永遠に失われし光明を求めて希望という名の小さな猛者たちが立ち上がった」そう、中1-1は未だ行事での表彰状が一枚しかなく「西先生に表彰状を」「立候補したからには勝たねば」という思いで、ほぼ毎日練習に通った。練習に付き合ってくれた柔道部のみなさん有難うございました。(J1-1 土田夏湖)

今回の柔道大会で準優勝という結果にとってもうれしく思います。来年からは柔道の授業がなくなるのでどうなるのかわかりませんが、来年もどんな形であれクラスに貢献できればいいと思っています。来年は、出来れば団体戦に出て、優勝したいと思います。なんとも面白みのない文章になってしまってますいませんでした。ちなみに来年の個人戦はワタナベ君が優勝してくれるそうです。

(J3-3 山田俊正)





「二位じゃだめなんですか」はい。蓮舫さんの名言ですね。二位になっちゃいました。三年四組女子団体です。なんか、どこかの偉い人が、「二位より三位のほうが心理的にうれしい」って言ってましたが、二位でもめっちゃ嬉しいです。それもこれもみんなで頑張ったのと、試合中松岡修造なみにアツくなっていた三輪田先生のおかげです。ありがとうございました。最後になりましたが、最近、蓮舫さん、あまりテレビで見ないですね。元気にしてるんでしょうか。(J3-4 前川葵)

今回の柔道大会、僕たち四組は男女とも準優勝ということでまずまずの結果であったのではないのでしょうか。僕は姑息な返し技を使う K とは違って、雨の日も風の日も背負い投げの練習をしてきました。えっ、K って誰かって？別に決勝戦で背負い投げされてたあいつじゃありませんよ。近くに住んでいる猫のことで。えっ、何で猫が返し技を使えるかって？それには深い理由があるんだけどその話はまた今度、っていうことで背負い投げがきれいに決まってよかったです☆

(J3-4 藤本款大)



どうも。MVP になりました J3-2 の劉子陶です。ではさっそく、連戦連勝の試合について回想したいと思います。僕にとって一番忘れられないのは決勝戦での K 君との対決ですね。彼の組んだ時のあのすずしそうな笑顔は思い出ただけでぞっとしますが僕の見事な Shoulder Throw によって彼は無様にも粉碎しました。ま、余裕でしたけどね…とはいえ、今年は例年に比べて女子の盛り上がりが少なかったように思われます。女子の皆さん、来年からも応援よろしくをお願いします。(J3-2 劉子陶)



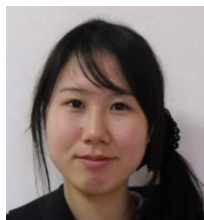
1回戦の延長戦。みんなの応援が聞こえる中、正直諦めかけていた所で、1本がきました。みんなで粘って勝ちとった1本だったと思います。その時は、すごく嬉しかったです。結局2回戦で負けてし

まったけど、応援してくれたみんなも含めて今回のメンバーで戦えたことは最高の思い出になりました。(J2-1 中山史菜)



未来への希望

49 期中学部生徒委員会副委員長 西大篠仁乃 (H1-2)



みなさんが幸せを感じるのはどんな時ですか？仲の良い友達とお喋りしている時、美味しいケーキを独り占めしている時、思いっきり部活をしている時。私の場合は、いつもなかなか揃わない家族が揃って食事をする時です。家族はやっぱり落ち着くなと思います。人にとっての幸せは百人いれば百通りあるわけで、まさに十人十色です。

では、みなさんが実際は違うけど、こうだったらもっと幸せだなと思うことは何ですか？もっと足が速かったらな、とか一瞬ですべてを記憶する能力があったらな、とかこれも様々ですよ。でも、これは考えたら限がありません。努力してどうにかなるものもあれば、そうでないものもあります。人間は誰しも幸せになりたいと願うものです。しかし、その際に自分にないものばかりを求めているのは解決しません。何をやっても状況が変わらない時、人は自分は駄目な奴なんだと考えがちです。しかしこういう時は、ないものより今自分にあるものに目をつけるのです。実は、当たり前にあるものにこそ幸せは隠れています。

朝起きて顔を洗い、服を着替え、朝ご飯を食べる。そして歯を磨いて出発。いつものこの変わらない日常にだって、自分が気づいていないだけでたくさん幸せがあります。もし、朝起きて水道が止まっていたら。さっき書いた五つの項目のうち三つはすることができない。朝のたった五つの項目ですら約半分が行えないとなると、一日の生活の中でどれだけ不便さを感じるでしょうか。そう考えると、水があってよかったな、と思う。ここに気づくことで、水のある生活が少し、違って見える。水など物質的なものに限りません。家族や友達だってそうです。私たちにとって当たり前であるものこそ、必要不可欠であることが多いのです。

こう考えてみると、私たちの日常生活はすべて、当たり前から成り立っていることに気づきます。当たり前があるからこそ日常生活がある、とも言えそうです。私たちは、きちんとそれをこなしているでしょうか？勉強において、私が大事だなと思うのはこの当たり前をきちんとこなすことです。定期テストは一夜漬けではなく、計画的に。宿題は溜め込まずにその都度行う。英単語も小テストで手を抜かずにこまめに覚える。なぜそれが大事かという、その当たり前をきちんとこなしている人は意外と少ないからです。地道ではありますが、それでも着実に力をつけてきます。やらなくてもできるという天才型もいますが、みんながみんなそうではありません。中学そして高校と勉強をするにあたって、この地道にできることから行うというのが自分に一番合っているなど感じました。

私は、この姿勢でこれから山あり谷ありの人生を歩み、そして未来を切り開いていきたいと思います。

